

題材にした「まちづくり活動」

ゴミステーション

作者コメント

最近道にたくさんのゴミが落ちているので少しでも道にゴミを捨てないように。という願いで描きました。

このマンガで願いが伝わったか分かりませんが少しでも伝わっていただければ幸いです！

講評 熊本コアミックス 持田社長

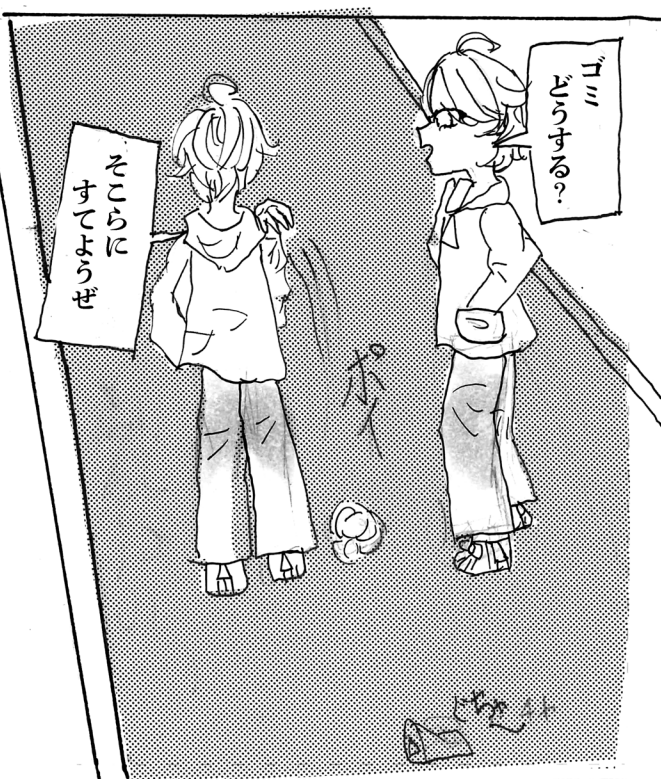
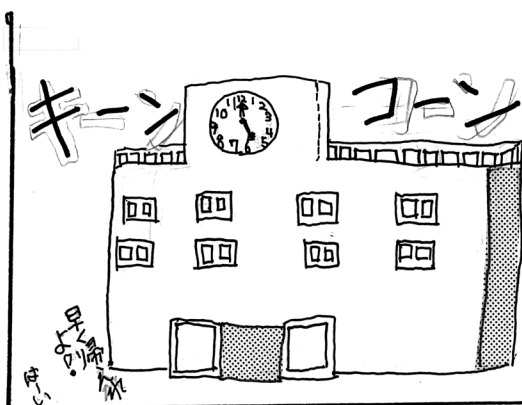
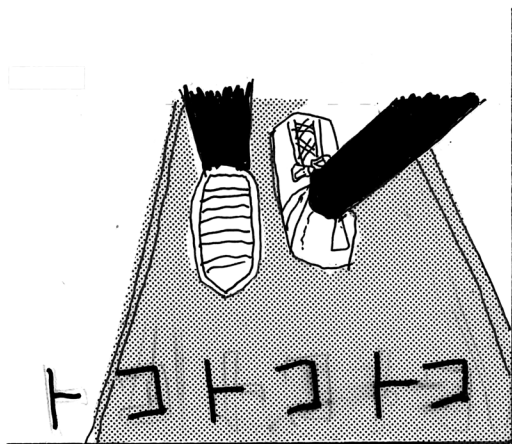
ゴミステーションを題材にした作品ですが、2ページ目の「いや 捨ててください」と3ページ目の「本当困った人ですよ」の女の子の表情が、作品の中で読者に最も伝えたい感情なんだと伝わりました。表情の描き分けもできています。世界共通で伝わる感情の表情は、「喜び」「悲しみ」「怒り」「不安」「驚き」「嫌悪」の6つだと言われています。言葉や文化が違えども、その表情だけで相手に感情が伝わります。

「SSMM!」さんの作品も、感情を大ゴマで見せるところが良いです。キャラクターが感情的に何かを言う時は、「今大切なことを言っているんだな」、「感情が変化したんだな」などがよく伝わるので、大ゴマを用いるケースが多いです。この女の子が、ゴミ問題についていろいろなことを考え、どう思っているかがすぐわかるので、マンガとしてきちんと成立し、メッセージ性がある作品になっていると思います。



まちづくりの注目ポイント

マンガでは「ゴミはゴミ箱に」というルールが出てきます。家庭ごみを出す「ごみステーション」にも、まちの安全を守るために、自治会長などの地域の人のごみの出し方のルールを呼びかけたり、掃除したりしています。



あっ



めんどくさい。



やだ。

ゴミ捨てて
ください



この道はゴミ箱では
ありません！
ゴミはちゃんとゴミ箱にす

捨てて
ください

いや

なんだと
このガキ





ペンネーム しろ(小学5年)

No.7

題材にした「まちづくり活動」

パトロール・見回り

作者コメント

見回りをどう表現するかむずかしかったけどがんばりました。

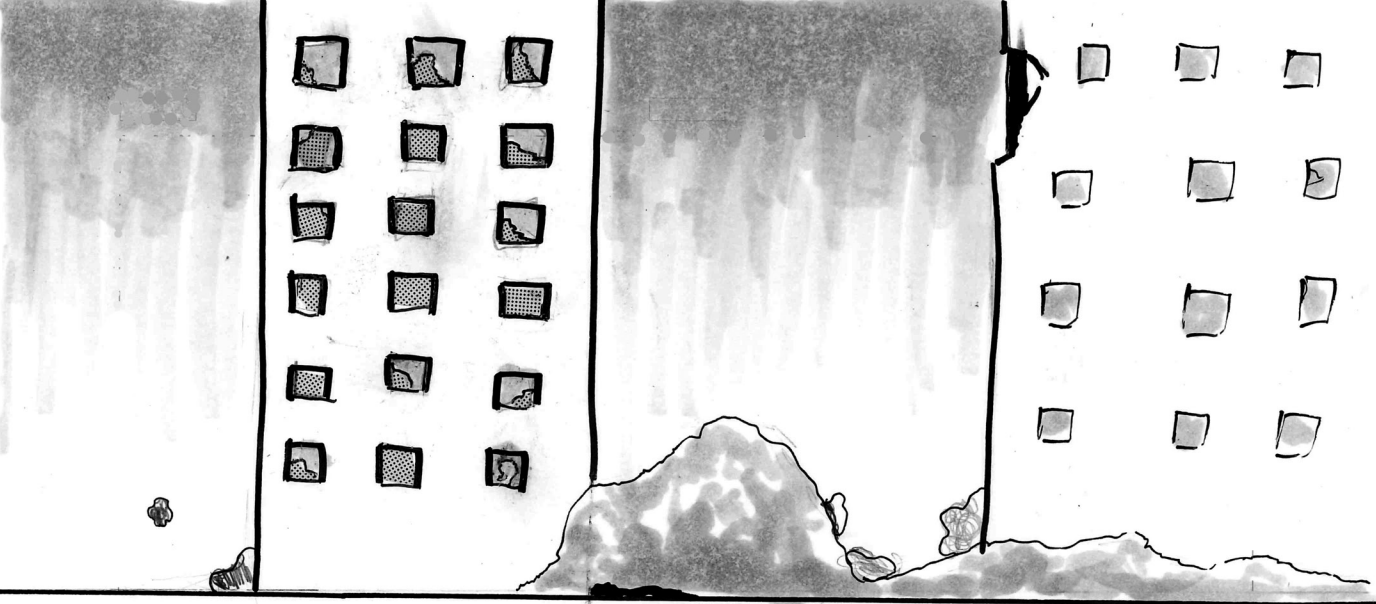
講評 熊本コアミックス 持田社長

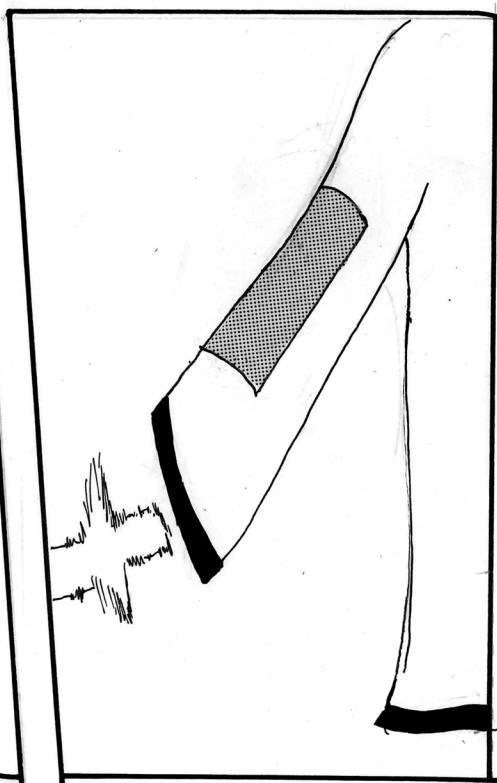
見回り・パトロールがテーマの作品ですが、キャラクターデザインも含めてすごく雰囲気を持っていると思います。主人公の性別もわからない感じですし、宙に浮いている相棒のようなキャラクターもありますし、主人公の職業や正体に興味をそられるような世界観があります。星を滅ぼすためにやってきた敵役を「ズバッ」とやっつけて、街を守るということがしっかり描かれています。主人公のこれまでの様子や行く末にすごく興味が湧くので、もっとエピソードが見たいなという気にさせられます。

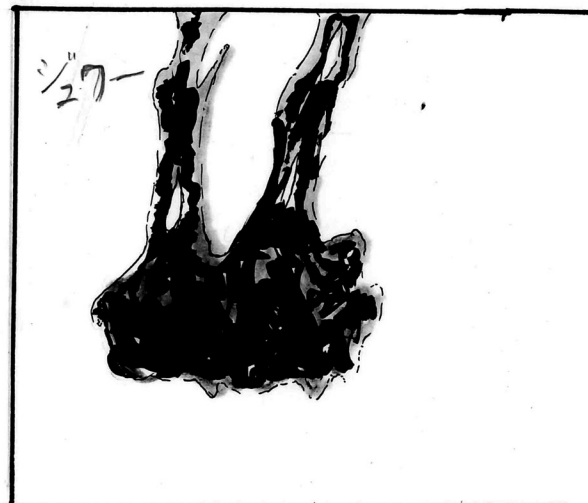
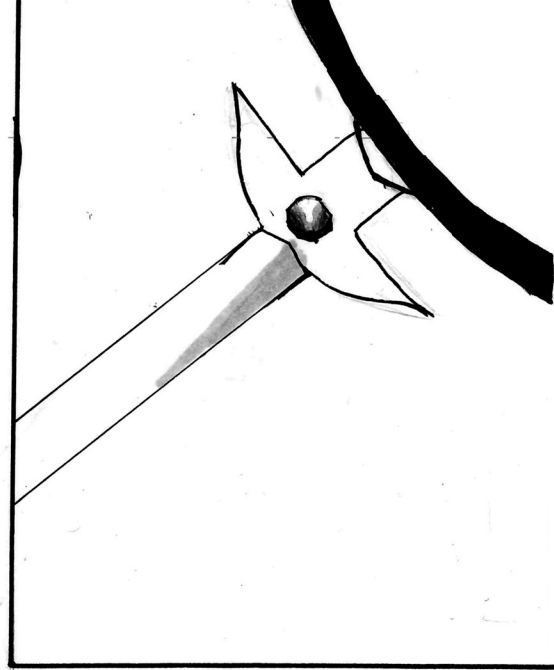
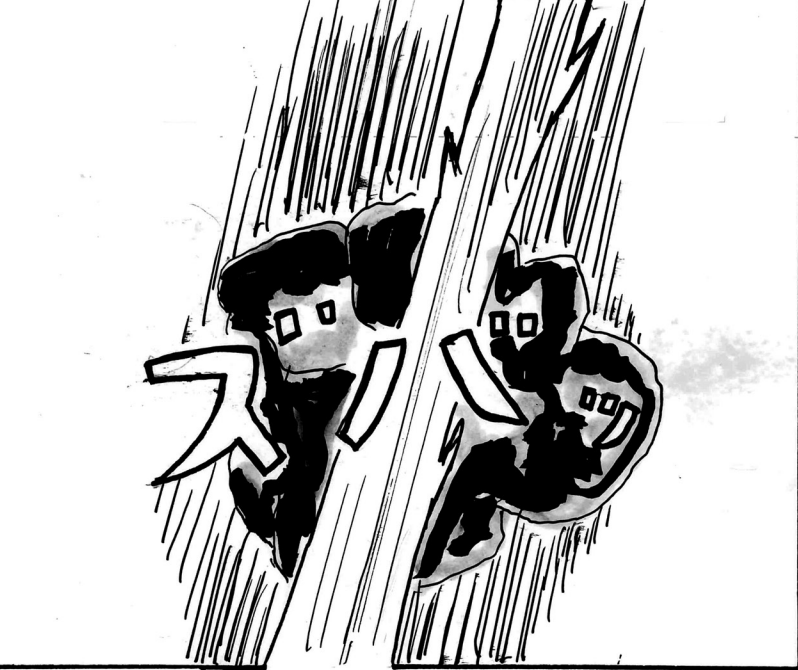
もっとたくさん絵を描いて、悪を斬る時のシーンを、主人公のポーズやアクションも含めて表現できれば、もっとよくなると思います。好きなマンガをたくさん模写したりして、スカッとするシーンを描けるようになってほしいなと思います。

 まちづくりの注目ポイント

地域では、まちの安全を守るためにパトロールや見回り活動をしています。事故や犯罪が起こりそうな場所を探して、人知れずそれを解決する姿は、まさに地域の隠れたヒーローです！







ペンネーム 雨屋／猫属(小学6年)

No.8

題材にした「まちづくり活動」

白川夜市のようなお祭りとゴミひろいを混ぜたようなマンガです。

作者コメント

ゆるいギャグマンガみたいな感じのマンガです。

2つのまちづくり活動を混ぜたところがポイントです。

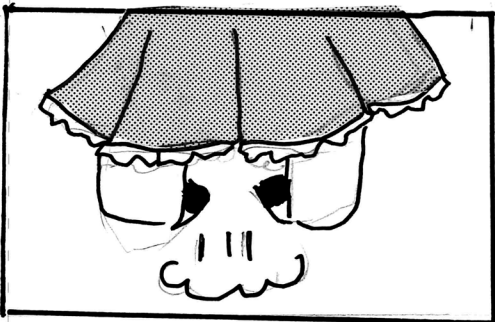
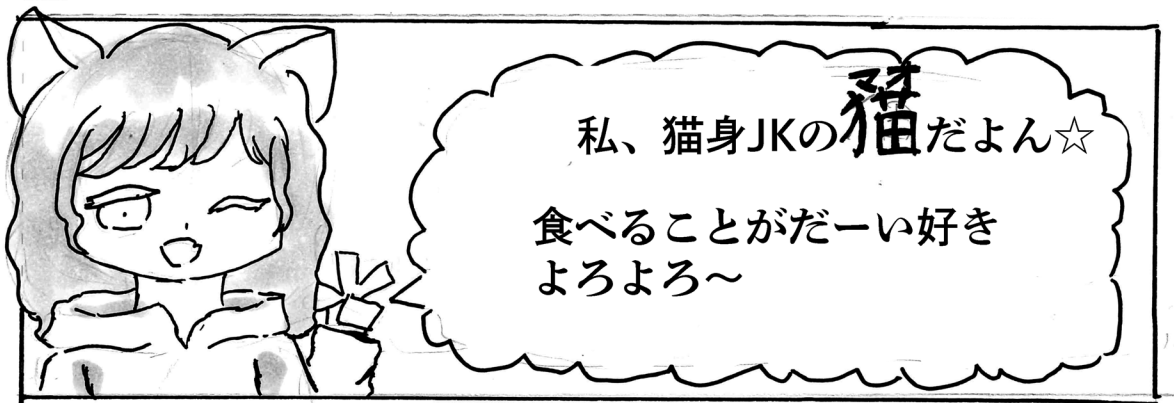
講評 熊本コアミックス 持田社長

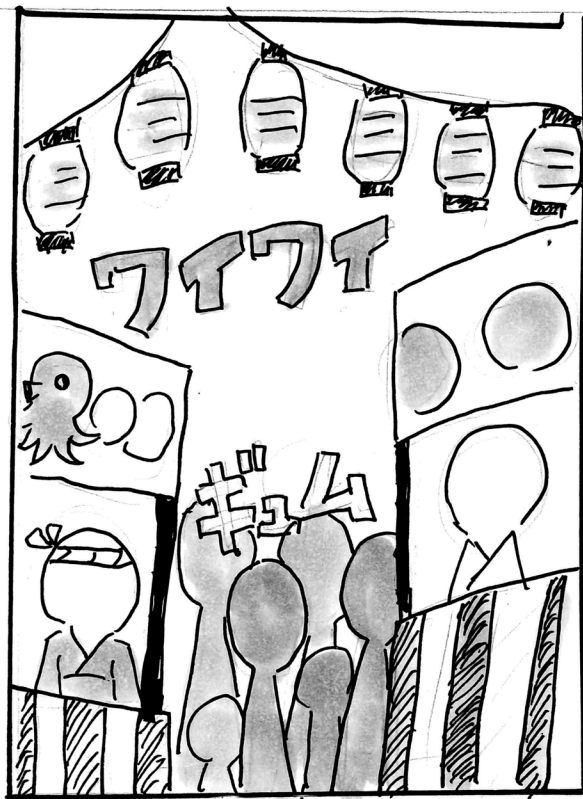
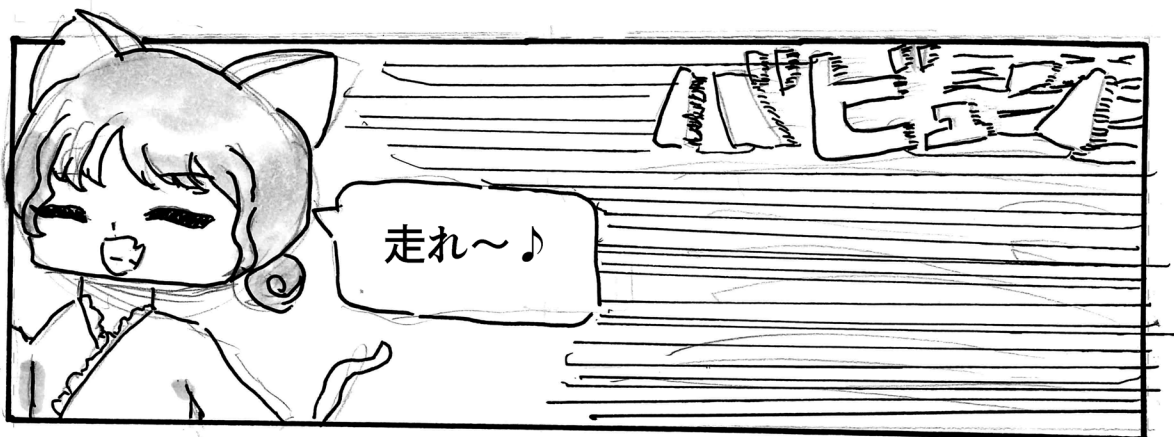
猫の「マオ」が可愛く描けているところがとても魅力的です。日常的なシーンのセリフも、今時らしくて良いと思います。「げっそり」感も良く描けています。お祭りの後、りんご飴が落ちていることに対して、マオがやきもきしているところに、掃除をする人が現れて感謝する、という流れもストーリーとして成立しています。

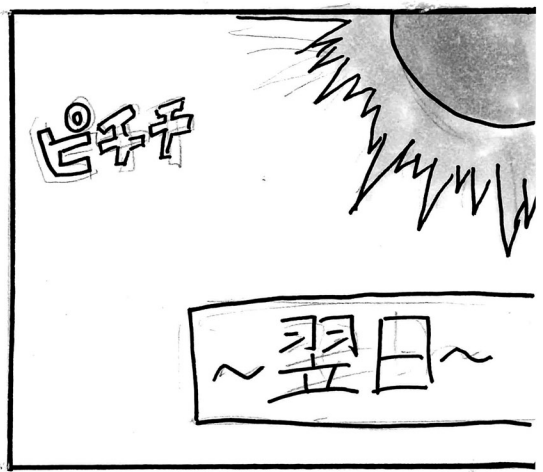
マオというキャラクターを、いろんなポーズや表情でもっともっとたくさん描いて、確立させてほしいと思います。非常に可愛い作品で、色々なエピソードをつくりながら、キャラクターを育てていってほしいと思いました。

 まちづくりの注目ポイント

楽しいお祭りの後には、イベントスタッフやボランティアが会場のごみ拾いをしています。ただ楽しいだけのイベントではなく、始まる前と終わった後に掃除をすることで、自然ときれいなまちになっていきます。







題材にした「まちづくり活動」

ゴミの不法投棄について考えるマンガにしました。

作者コメント

もし自分のまちがゴミであふれてしまったら、と考えながら描きました。

少し暗い設定なので主人公の心の変化に苦戦しました。

このマンガを見た後に考え直す余韻があるとうれしいです。

講評 熊本コアミックス 持田社長

まず、主人公の男の子が、カッコよく雰囲気があり、絵柄も、日本のマンガ界の基礎を築いた手塚治虫先生や横山光輝先生を彷彿とさせるテイストです。それぞれの脇役のしぐさや雰囲気もしっかりとあり、ストーリーも奥深く、完成度の高い作品になっています。キャラクターの表情の描き方も満点に近いと思います。

最後の大ゴマで背景に街の様子が描かれていますが、もっと画力を上げ、細かく描くことで、セリフがなくても絵だけで表現できると思います。この調子で、どんどん描いてほしいと思います。

 まちづくりの注目ポイント

不法投棄は、放火などの犯罪や事故の原因に。それらをなくし、より良いまちをつくるには、いろんな人のチカラが必要です。「誰か」ではなく一人ひとりが「まちづくりの一員」としてできることを考えていきたいですね。



